科目区分	専門分野	授業科目	精神看護援助論
講師名		実務経験の有無	有
単位数（時間）	2 単位（30 時間）	開講年次	2 年次　第 2 学期
授業概要 ＊講師からのメッセージ			

目的：精神症状の影響を受けながら生活している対象の回復を助けるために必要な看護を行うための基礎的な知識とコミュニケーション技術を習得することができる

目標：1. 精神に障害のある対象の生活行動上の問題や症状に対する援助方法を理解する
2. 精神に障害のある対象の治療過程に応じた看護方法や多職種との連携を理解する
3. 対象の回復を助けるためのコミュニケーション技術を習得する

回	授　業　内　容	授業方法
1 2	1. 回復を支援する 1）回復の意味 2）リカバリーのビジョン 3）リカバリーを促す環境 4）リカバリーを促す方法としてのグループ 5）様々な回復のためのプログラム	講義
3 4(45 分)	2. 安全を守る 1）リスクマネジメントの考え方と方法 2）行動制限、隔離、身体拘束を受ける患者へのケア	講義
5	3）緊急時の対処 ①自殺、自殺企図、暴力、転倒、骨折、窒息、誤飲、院内感染、無断離院など 4）緊急事態とスタッフの支援	講義
6～7 (135 分)	3. 身体をケアする 1）精神科における身体ケア 2）精神の治療に伴う身体のケア	講義
8	3）精神科における身体を通したケアの実際 4）身体合併症のアセスメントとケア 5）精神科における終末期ケア	講義
9	1. 演習の導入 1）ワークの進め方・事例説明・事例からの情報整理（個人ワーク）	講義・課題
10	2. 事例から予測される事象とその援助内容（個人ワーク） 1）情報から事例に起こると予測される事象を考える抽出と事例へ必要となる援助の検討	講義・課題
11	3.　コミュニケーション計画の構想と試行 1）模擬患者へ援助を実施するためのコミュニケーション計画の構想（グループワーク） 2）コミュニケーション計画に沿って練習	講義・演習
12～13 (135 分)	4. ロールプレイングとプロセスレコードの振り返り 1）模擬患者へコミュニケーション計画の実施（グループ）とプロセスレコードの記入・分析（個人ワーク）	講義・演習・課題
14	5. コミュニケーション計画の再構想と試行 1）プロセスレコードの分析から自己のコミュニケーションの傾向を明確にする 2）自己のコミュニケーションの傾向を踏まえた、コミュニケーション計画の見直し（グループワーク） 3）コミュニケーション計画に沿って練習	講義・演習
15～16 (135 分)	6. ロールプレイングとプロセスレコードの振り返り 1）模擬患者へコミュニケーション計画の実施（グループ）とプロセスレコードの記入・分析（個人ワーク）	演習・演習・課題

17（45 分）	まとめ	講義
18（45 分）	終了試験	
評価方法	精神看護援助論の筆記試験（50 点満点　45 分）と演習の個人ワークの提出物（50 点満点） 科目評価は、精神看護援助論（筆記試験）＋演習の個人ワークの提出物とする。 評価基準参照	
テキスト	医学書院：精神看護学②精神看護の展開	
備考	既習関連科目：精神看護学概論、精神看護疾病論	